

Japan-YWP 2023年度 総会

2024年3月20日

Japan-YWP 第7期代表 野村洋平

Japan-YWPは、IWA日本国内委員会の下部組織として2010年に設立され、水分野の学術的研究・知識の普及・水環境保全への積極的な貢献を目的に活動を行っている若手中心の組織である。2024年3月10日時点における登録会員数は583名であり、教育機関、研究所、民間企業、官庁・自治体など様々な所属の方がJapan-YWP会員となっている。会員同士が産官学の垣根を越えて人的ネットワークを構築し、情報の発信と収集を行うプラットフォームとなることを活動理念としている(図1)。

第8期(2024~2025年度)Japan-YWPの代表として、第7期Japan-YWP代表を務めた、野村洋平氏(京都大学大学院地球環境学堂 助教)を推薦いたします。野村氏は愛媛大学大学院で博士課程を修了されたのち(研究テーマ:回転円板型促進酸化装置による実廃水中微量化学物質の除去技術の開発)、愛媛大学および高知大学で博士研究員として研究に従事されてきました。そして、2020年から東京大学で特任助教、2021年8月より京都大学大学院工学研究科の助教を務めるとともに、2023年4月1日より現職の京都大学大学院地球環境学堂の助教を務めております。野村氏は全国各地に人脈を持つだけでなく、研究面で国際的にも活動されていることから、Japan-YWPを大きく発展させていけると確信しています。本総会をもって、野村洋平氏の第8期Japan-YWPの代表就任を承認することについて、ご意見がありましたら、2024年3月27日までにJapan-YWP事務局までご連絡ください。

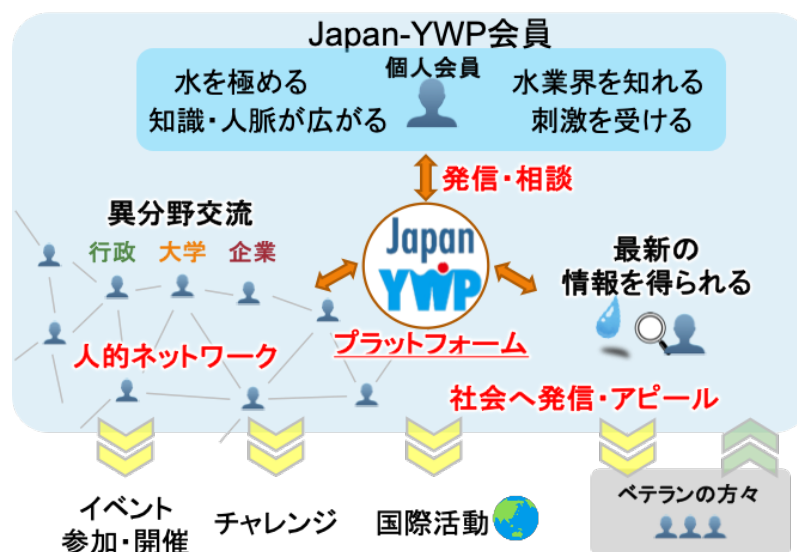


図1 Japan-YWPの活動理念

運営体制

組織やイベントの運営は24名の運営委員が取りまとめており、4名のアドバイザーの協力を受けて活動を行っている(表1)。

表1 運営体制

代表	野村洋平 (京都大学)
副代表	高田一輝 (三菱総合研究所) 長尾麻未 (NJS) 渡利高大 (長岡技術科学大学)
委員	石井淑大 (国土技術政策総合研究所) 大石若菜 (東北大学) 大野翔平 (水ingエンジニアリング) 神田峻 (水ingエンジニアリング) 北尾亮太 (ヴェオリア・ジェネッツ) 熊越瑛 (日本下水道事業団) 多田悠人 (京都大学) Yong Jie (京都大学、学生委員) 横井貴大 (京都市上下水道局) 荒井美帆 (西原環境) 蝶名林郁也 (日水コン) 秦裕弥 (日水コン) 瀬川奈未 (日水コン) 橋口亜由未 (島根大学) 林祥一 (オリジナル設計) 平片悠河 (産業技術総合研究所) 松永光司 (埼玉大学) 吉田健人 (日立製作所) 池田直生 (JFEエンジニアリング) 三輪徹 (長岡技術科学大学)
アドバイザー	阿部秀夫 (公益社団法人日本水道協会 研修国際部長) 片山浩之 (東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻 教授) 堂蘭洋昭 (国土交通省水管理・国土保全局下水道部 下水道事業調整官) 藤原 拓 (京都大学大学院地球環境学堂水環境保全論分野 教授)

活動の状況

2023年度のイベントを表2に示す。今期より他国のYWPとのネットワーク形成を進めており、Philippines-YWPとのワークショップやシンポジウムを通じて親交を深めている。その他、公益財団法人水道技術研究センター(JWRC)との合同企画として水道講座を行っている。

表2 2023年度の活動

時期	イベント内容 (形式/言語)
	Japan-YWP 第 11 回国際シンポジウム (オンライン/英語) WET2023 のプログラムの一部として実施
2023. 7.7	東京大学 特任助教 Pham Viet-Dung 氏、UNICEF The Gambia 後藤翔太郎 氏による講演 海外出身の研究者が日本での、日本出身の研究者が海外での、経験を紹介するとともに、アカデミックキャリア形成について活発なディスカッションを行った。(図 3)
2023. 9.19	第 19 回 JWRC 水道講座 (オンライン/日本語) 八尾市水道局 林 和志 氏、東京成徳大学 樋口 徹 氏による講演 Japan-YWP から多田と野村が開催協力
2023. 11.30	第 60 回環境工学研究フォーラム企画セッション 一般公開シンポジウム「上下水道インフラの明るい未来に向けたデジタル化の可能性」(ハイブリッド/日本語・英語) 土木学会 環境工学委員会、ICT・IOT・AI 活用小委員会との共催 中央大学 山村 寛 氏、IWA Fellow/Xylem Randolph Waters 氏、日本下水道協会 安田 将大 氏による講演 Japan-YWP より野村がパネリストとして参加 国内外での DX 政策の動向、海外での上下水道インフラへの DX 導入までの道のりや障壁について意見交換するとともに、齋藤 愛 氏によるグラフィックレコーディングによりパネルディスカッションの可視化を行った。YouTube でアーカイブ視聴可能(https://www.aict-water.com/一般公開シンポ 2023 終)。(図 4)
2023. 12.19	第 20 回 JWRC 水道講座 (オンライン/日本語) 東洋大学准教授 蜂巢 旭 氏、愛知県企業庁 吹元 雅崇 氏による講演 Japan-YWP から多田と野村が開催協力し、多田が司会進行を担当
2024. 3.6	九州の水事情を語る会 (対面/日本語) 第 58 回日本水環境学会年会のプログラムの一部として実施 九州大学名誉教授 楠田 哲也 氏(+複数名:調整中)による講演+パネルディスカッション 先着 30 名の対面イベントとして調整中 日時: 2024 年 3 月 6 日(水)17:00~18:00 場所: 九州大学伊都キャンパス センター2 号館 2403(A 会場)

Shotaro Goto の画面を表示しています ビューオプション

PowerPoint スライドショー [July 7th_Wet_Final] - PowerPoint

Self Introduction-2



Shotaro Goto
WASH specialist
UNICEF the Gambia

Professional Experience

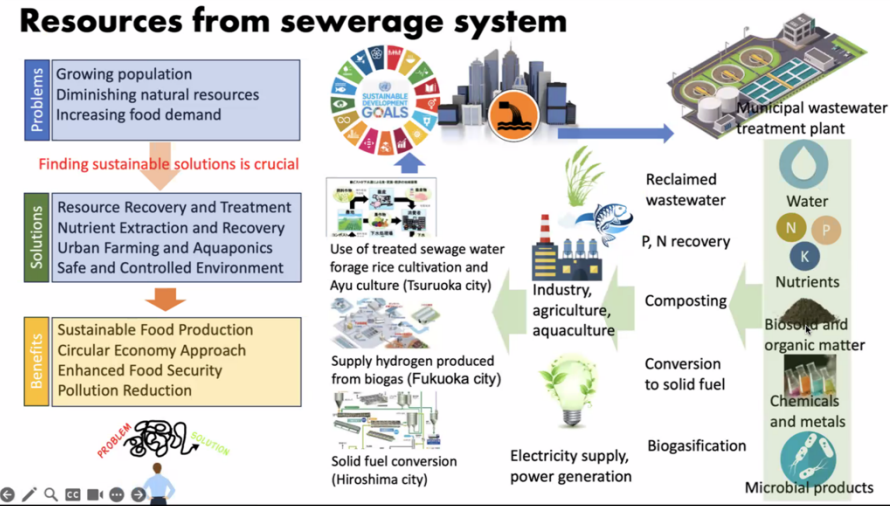
- 2015 Intern at an aid organization in Mozambique. Surveyed on water and sanitation situation in rural communities.
- 2016 Engineer at an engineering consulting company. Engaged in various wastewater projects in Japan and Asian countries.
- 2019 Consultant at a business consulting company. Engaged in several water related public private partnership (PPP) projects in Japan, and other countries.
- 2021 Freelance consultant. Engaged in several sanitation and environment projects.
- 2022 WASH specialist at UNICEF the Gambia. Engaged in various Water, Sanitation and Hygiene (WASH) projects.

3

ミュート解除 ビデオの停止 参加者 チャット 画面共有 字幕を表示 リアクション アプリ ホワイトボード 退出

Participants: Youhei NOMURA, 渡利高太_長崎技大, Viet-Dung PHAM..., Viet-Dung PHAM (Utoky..., Bei Zhang, Bei Zhang, Jack Song, Shotaro Goto, 2B-3-e_Lisa Aprilia_Bur...

Resources from sewerage system



Problems

- Growing population
- Diminishing natural resources
- Increasing food demand

Finding sustainable solutions is crucial

Solutions

- Resource Recovery and Treatment
- Nutrient Extraction and Recovery
- Urban Farming and Aquaponics
- Safe and Controlled Environment

Benefits

- Sustainable Food Production
- Circular Economy Approach
- Enhanced Food Security
- Pollution Reduction

Resources from sewerage system

- Reclaimed wastewater
- P, N recovery
- Composting
- Conversion to solid fuel
- Biogasification
- Microbial products
- Water
- Nutrients (N, P, K)
- Biosolid and organic matter
- Chemicals and metals

Use of treated sewage water for rice cultivation and Ayu culture (Tsuruoka city)

Supply hydrogen produced from biogas (Fukuoka city)

Solid fuel conversion (Hiroshima city)

Electricity supply, power generation

Municipal wastewater treatment plant

PROBLEM SOLUTION

Participants: Alex Y. Murata, Koyo Yamada, Yohei Miura

図3 Japan-YWP 第11回国際シンポジウム (WET2023)

Japan-YWP活動費 経理報告

2023年度の経理状況を表3に示す。収入は利息を表す。運営費はホームページの維持管理費やメーリングリストの利用料が含まれる。会議・イベント開催費にはZOOMの利用料、第60回環境工学フォーラムのイベント共催費が含まれる。旅費は、イベント開催に係る交通費を表す。雑費は、振込手数料や切手代を表す。

表3 2023年度(2023年4月1日～2024年3月20日)の経理状況

収入		
前年度繰越		¥2,005,661
収入		¥369,177
合計		¥2,374,838
支出		
運営費		¥65,472
会議・イベント開催費		¥298,977
旅費		¥27,450
備品購入費		¥0
雑費		¥440
合計		¥392,339
資金残高の推移		
移管資金	期首残高	¥2,374,838
次期繰越	活動増減差額	¥392,339
移管資金	期末残高	¥1,982,499